



大阪学院大学 国際センター

## CET アカデミックプログラム

### 日本語非常勤講師募集

CET アカデミックプログラムは、ワシントン DC に本社を置き、米国の有名大学と提携し、留学生のために高水準の日本語教育を大阪学院大学で提供しています。実践的な日本語能力を育成することを目標とし、初級日本語から上級日本語まで様々なレベルのクラスを春、夏、秋学期に展開しています。CET 独自の方法により留学生は短期間に日本語の運用力を身につけ、学外活動や日々の生活体験を通して日本の地域社会に触れ、より深く「日本」を学びます。そして、留学生は帰国後、CET の単位を母校の大学で互換できるアカデミックプログラムです。

本プログラムでは、日本語教育に熱意を持ち、より高い水準で授業を行う事のできる非常勤講師を募集します。

#### 1、公募職名と採用人員数

日本語非常勤講師 若干名

#### 2、任期

秋学期：2022年8月22日から 2022年12月19日まで。ただし、任期更新の可能性あり。

#### 3、所属

CET アカデミックプログラム（大阪学院大学 国際センター内）

#### 4、主な業務内容

- 日本語および関連科目、プロジェクトの教育担当 週 10 コマ（60 分授業）程度。
- 担当コースの日本語教育業務「授業計画書の作成と教材開発、学生の成績管理」（必要であれば個別指導クラスも担当）。
- プログラム全体の運営業務への協力（定例会議出席、授業報告書作成を含む）。
- 授業見学に応じ、フィードバックを元に教授法を改善。

#### 5、応募条件

次の条件をすべて満たす者

- 国内外における修士号以上の学位を持つ者（日本語教育に関連した分野が望ましい）。
- 高等教育機関において日本語教育に従事したことのある者（個人教授は除く。アメリカ国内の大学で日本語を教えた経験がある者が望ましい）。
- 国籍は問わないが、日本語母語話者または同等の能力を有し、日本国内で合法的に就労できる者。
- 留学生への日本語教育に熱意を持って取り組み、インターアクティブな教授法を開発し、実施できる者。
- 向上心を常に持ち続け、評価に対し、改善案を実行できる者。
- 秋学期以降も継続勤務できる者。

## 6、応募書類等（英語か日本語のどちらでも構いません）

- <履歴書> 学歴、職歴、日本語教育歴を含む。
- <日本語教育業績> 教育機関、クラス頻度、担当科目、レベル、使用教科書、教授法ならびに教育改善（カリキュラム／インストラクション）経験の有無について記載すること。
- <ビデオ> 実際の授業を撮影したデータ（60分程度）へのリンクを応募メールに記載すること。オンライン授業のビデオも可。
- <志望理由書> 日本語教育に関するこれまでの業績や経験を踏まえ、本プログラムに採用された場合における抱負。特に、日本語能力の育成やそれに必要な教授法の工夫や改善に関する内容を記すこと。（A4判2枚以内）
- <教案> 実際に使用した教案の一部のコピー。（異なるレベルの教案3コマ分）
- <照会人> 3人。連絡先（名前、所属、電話番号、Eメールアドレスなど）を記すこと。
- <最終学歴証明書> 最終学歴を証明できる書類のコピー。（卒業証書等）  
書類審査後、CETにて面接を行う。旅費などは応募者の負担とする。海外の場合はオンラインで面接を行う。

## 7、書類送付先と締切等

- 令和4年7月30日締め切り
- 応募書類を添付しEメールで送付すること。
- 送付先：CET アカデミックプログラム 日本担当マネージャー Kate Maruyama  
[kmaruyama@cetacademicprograms.com](mailto:kmaruyama@cetacademicprograms.com)
- 提出された媒体は、原則として返却しない。
- 提出された媒体は、本選考にかかる目的のためにのみ使用し、本目的以外には使用しない。